

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	里海づくりを柱とした水産業の振興	コード	作成者	役職	産業振興課長
		05-07-26		氏名	丸尾 勇司
			電話	0869-64-1831	
			このシート作成に要した時間	5.0 時間	

この施策の アピール ポイント	海洋牧場を地域資源の核として、安定した水産資源の管理・回復を図る。
-----------------------	-----------------------------------

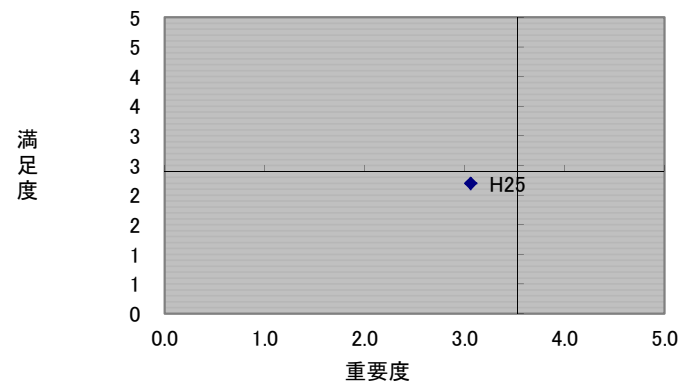
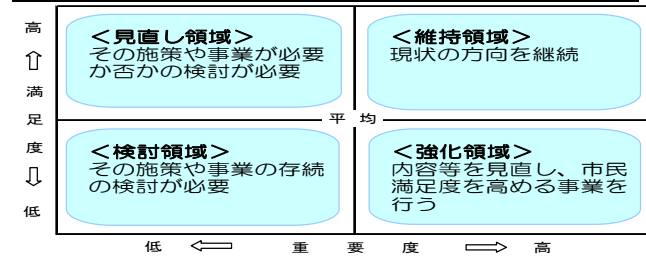
この施策の 平成25年度の 施政方針	県、市、漁業協同組合等が協同して、豊かな生態系を持つ里海づくりを目指すとともに、県事業により鹿久居島周辺海域で実施されている海洋牧場の海域利用について関係機関と協議してまいります。また、頭島において、カキ処理施設の建設を進め、水産業のさらなる活性化に努めてまいります。
--------------------------	--

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想 (大項目)	生活環境政策「快適・活力」
	基本計画 (中項目)	地域の活力を生む産業を振興させるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	市内の漁業協同組合や関連する観光産業等の振興と漁業従事者の生活の安定を図るとともに新鮮な水産物の供給を行う。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	水産資源の減少、漁業従事者の高齢化など、水産業を取り巻く環境は決して楽観できる状況ではなく、今後とも水産物の産地として発展していくためには、基盤整備や後継者対策を継続するとともに、里海づくりによる豊かな海の再生に取り組む必要がある。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 里海のまちづくり 水産業の経営基盤の強化 沿岸域の総合管理 消費拡大の推進 漁村・漁港の整備 	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H25
重要度	3.06
満足度	2.20



調査結果に対するコメント、市民の反応等	多様化する食生活において魚離れがおきないよう消費者ニーズに合わせた新しい水産特産品を促進する必要がある。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標 (基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H23	H24	H25			H26	H28
回復させたアマモ場の面積	目標	ha	200	200	200	アマモ場の回復面積/目標値	H26	230
	実績	ha	200	200	200		H28	250
	達成率	%	100.0	100.0	100.0		H34	300
	ベンチマーク						-	-
漁獲高	目標	t	270	270	270	漁獲高/目標値	H26	270
	実績	t	286	228	213		H28	270
	達成率	%	105.9	84.4	78.9		H34	300
	ベンチマーク						-	-
養殖カキの生産量 (むき身の重量)	目標	t	2,200	2,200	2,200	むき身量/目標値	H26	2,200
	実績	t	2,103	2,169	1,950		H28	2,200
	達成率	%	95.6	98.6	88.6		H34	2,250
	ベンチマーク						-	-
参考指標③	目標						H26	
	実績						H28	
	達成率	%					H34	
	ベンチマーク						-	-

⑦ 目標達成に必要な新規事業 (裏面 施策構成事務事業以外の事業) 及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
岡山県	漁港整備事業	頭島・大多府・穂浪の漁港整備

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断	理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4		アマモ場の面積が回復すれば、漁獲量や養殖カキの生産量が増加することから成果指標は妥当と考える。
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	4		漁業の振興と漁業従事者の生活の安定を図ることから事業構成は妥当と考える。
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4		海洋牧場の完成に伴う造成漁場の機能回復と海域の高度利用の推進を図る必要がある。
進行年度 (H26年度) の取組内容 (課題解決状況)		平成25年度完成の東備地区広域漁業整備事業における環境状況を確認するためモニタリングを行い、今後の環境整備についての検討を行う。	
翌年度 (H27年度) の取組目標		本地域にとって重要な産業である漁業において、引き続きアマモ場再生を含めた漁業環境の整備等を行い、時代を担う後継者の育成に努める。	
二次評価者コメント		海洋牧場は、「生産性と生物多様性が高くなった沿岸海域」とする里海づくりの核として、漁場の機能回復と海域の高度利用について関係機関と協議を行ってください。	基本施策への貢献度 4 やや高い
役職 高橋 昌弘			

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等 (単位：千円, 人)										施策への 貢献度	
			平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算		
01	水産基盤整備事業	東備地区広域漁場整備事業	補助	15,600	344	0.05	20,200	299	0.03	0	0	0.00	1,800	☆☆☆☆☆
		漁業振興特別対策事業	補助	8,100	2,204	0.33	6,240	1,449	0.18	1,273	1,011	0.12	0	☆☆☆☆
		水産多面的機能発揮対策事業	補助	2,000	1,505	0.19	2,000	1,297	0.13	1,562	1,626	0.17	2,000	☆☆☆☆☆
		里海づくり事業	単市				0	760	0.08	0	1,527	0.17	0	☆☆☆☆
		海洋牧場有効活用協議	単市				0	399	0.04	0	654	0.07	0	☆☆☆☆
		東備水産振興協議会負担金	補助	100	61	0.01	100	100	0.01	100	99	0.01	50	☆☆
		全国漁港漁場協会負担金	単市	27	61	0.01	21	100	0.01	20	79	0.01	30	☆
		漁港整備県工事負担金	補助	14,095	238	0.03	30,262	300	0.03	10,218	277	0.03	13,300	☆☆☆☆
		港勢調査等事務	法定	0	121	0.02	0	100	0.01	0	258	0.03	0	☆☆
		漁場環境保全事業支援事務	単市	0	283	0.04	0	299	0.03	0	456	0.05	0	☆☆☆☆
		産地水産業強化支援事業	補助				0	1,197	0.12	32,589	3,278	0.36	418,742	☆☆☆☆☆
		岡山漁場地区水産物供給基盤機能保全事業負担金	単市				627	0	0.00	0	0	0.00	0	☆☆
		水産施設協議事務	単市	27	1,476	0.19	285	708	0.07	226	1,216	0.13	175	☆☆☆☆
02	漁業経営安定対策事業	水産資源の維持管理支援事務	補助	0	61	0.01	0	210	0.02	0	198	0.02	0	☆☆☆
		県栽培漁業負担金	補助	529	61	0.01	471	100	0.01	518	99	0.01	550	☆☆☆
		栽培漁業・養殖漁業の支援事務	単市	0	162	0.02	0	409	0.04	0	555	0.06	0	☆☆
		漁船保険補助金	単市	1,200	121	0.02	1,150	100	0.01	1,100	178	0.02	1,000	☆☆☆
		漁業経営の安定協議	単市				0	100	0.01	100	456	0.05	100	☆☆☆
		漁業近代化資金利子補給金	単市	45	121	0.02	80	100	0.01	57	258	0.03	100	☆☆
		都市漁村交流支援事務	単市	0	364	0.06	0	599	0.06	0	654	0.07	0	☆☆☆
頭島かた舟会館管理運営事業	単市	0	121	0.02	0	100	0.01	0	99	0.01	0	☆		
この施策に費やした資源 (単位：千円, 人)			平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
			41,723	7,304	1.03	61,436	8,726	0.91	47,763	12,978	1.42	437,847		